

2026(令和8)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【選択科目：地理総合】

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2026(令和8)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【地理総合】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I 地震の種類と特徴・震災の被害に関する文章を読んで下記の問いに答えなさい。

地震活動や地殻変動が活発な に位置する日本は、世界的にみても特に地震の多い地域である。地震はプレートの沈み込みや衝突で生じる力により、プレート境界に徐々に蓄積されたひずみが、一気に解放されるときに発生する。また、地震の規模は通常、震源から遠ざかるにつれて震度は小さくなる。また、地盤の質の違いによっても震度の大きさは異なる。

日本列島の太平洋沖に分布する千島、カムチャツカ海溝、日本海溝、相模トラフ、 トラフ、 海溝などに沿う場所では、プレート境界にたまったひずみが解放されると、非常に規模の大きな 型地震が発生する。

型地震では、津波が発生して海岸地域に甚大な被害をもたらすことがある。

一方、内陸部の活断層がずれ動いて発生する地震は、人の住む土地の直下で発生することから 型地震とよばれる。 型地震は規模が小さくても、震源に近い都市に大きな被害をもたらす。

地震は建物の倒壊や津波のほかにもさまざまな災害（震災）を引き起こす。震災は地形や地盤などの自然条件や、都市か農村かといった社会条件によっても異なる。山間部では土砂災害が発生しやすく、河川の流域では堤防の決壊によって洪水が発生することもある。地盤が軟弱な場所では、地震の揺れが大きくなったり、液状化現象が発生したりすることがある。沿岸部や都市部では様々な災害が発生しやすい。2018年の北海道で起こった 地震の際には、山間部で崖崩れや地すべりが多発し、道路が寸断されて集落が孤立した。その被害をうけた地域のある中学校の一部では、防災教育の一環としてハザードマップを参考にして地域住民と一緒に学校周辺を歩いて、災害からどのように身を守るかを考えるフィールドワークを実施する取り組みなどがみられる。

問1 ～ に当てはまる語句について答えなさい。(各2点)

問2 下線 a) のプレートの境界は3種類に分類されるが、それらについて「～境界」につながる形でそれぞれ答えなさい。(各2点)

問3 下線 b) の液状化現象について説明しなさい。(4点)

問4 下線 c) 沿岸部と都市部では地震によりどのような災害が発生するか説明しなさい。
(4点)

問5 下線 d) のハザードマップは災害の種類ごとに整備されている。とくに海岸地域に着目してその災害の種類を説明しなさい。(4点)

II 世界の宗教と人々の生活文化に関する文章を読んで下記の問いに答えなさい。

世界では様々な宗教が信仰されており、特にキリスト教、イスラーム（イスラム教）、仏教は民族や言語的なまとまりを超えて、多くの地域で信仰されていることから、① と呼ばれる。キリスト教は、ヨーロッパやヨーロッパからの ② がみられた南北アメリカやオセアニアなどに広まった。これらの地域には十字架を掲げた教会が建ち、聖書の教えに基づいた暮らしがみられる。仏教は、東アジアや東南アジアで主に信仰され、特にタイでは、男性が一生に一度出家して ③ として修業する習慣がある。

一方、インドで信仰されるヒンドゥー教やイスラエルで信者が多いユダヤ教のように、特定の地域や民族と結びついた宗教もあり、これらは ④ と呼ばれる。ヒンドゥー教は、特定の教祖や教典を持たない ⑤ であり、沐浴などの儀式を行う。それぞれの宗教は、人の生き方や同じ信仰を持つ人々の社会に規範を示し、その教えは食生活にも反映されている。

イスラームは7世紀に ⑥ で発生し、西アジア^{a)}や北アフリカ、中央アジアなどに広がった。イスラームの教えが記載された聖典コーラン（クルアーン）はアラビア語で書かれている。コーランには1日5回、聖地メッカの方向に拝礼すること、イスラーム暦の ⑦（ラマダーン）には日中の飲食をしないこと、生涯に一度はメッカに巡礼することなどが記されている。しかし、言語集団によってコーランの解釈が異なり、女性の服装では、サウジアラビア^{b)}などアラビア語を話す地域では規律が厳格であったが、近年、サウジアラビアでは開放政策で自由化された。ペルシャ語が公用語であるイランでは、⑧ とよばれる半円形の布をかぶって外出するのが一般的である。

イスラームが広がる地域には水が得られるオアシスの周辺にイスラームの人々が住む都市があり、その多くは ⑨ と農耕民の交易の場として発達した。オアシスでは^{c)}地下水路などを利用して貴重な水を公平に各家の畑に引く灌漑のしくみなどが発達した。

インドでは、ヒンドゥー教の教えに基づくカースト制と呼ばれる身分制度がある。カースト制^{d)}ではヴァルナと呼ばれる身分と出自で決められるジャーティという社会集団が重視される。しかし、カースト制には差別を助長する面があるため、現在、憲法でカーストによる身分差別を禁止し、職業選択や婚姻の自由も認めている。

紅茶に砂糖やミルクを多く入れるチャイを飲むのは、かつての宗主国であるイギリスに紅茶を輸出していた頃からで、その茶葉は降水量の多い ⑩ やダージリン地方などで生産されている。ヒンドゥー教徒が多いインドでは生乳の生産が急増し、⑪ も多くが輸出されている。1990年代に入り、インドでは米や小麦の消費が伸び、生乳や乳製品への需要が高まった。^{e)}

問1 ① ～ ⑪ にあてはまる語句を、下記の【語群】から選択して記号で答えなさい。
(各1点)

【語群】

- ア. アッサム地方 イ. アラビア半島 ウ. 移民 エ. 牛肉（水牛）
 オ. 世界宗教 カ. 民族宗教 キ. 僧侶 ク. 多神教
 ケ. 断食月 コ. チャドル サ. バザール（スーク）
 シ. パンジャブ地方 ス. 遊牧民

問2 下線 a) に関連して、次の表1は、主な宗教における食生活の特徴を4つ記載している。
 表1の①～④にあてはまる宗教名を、下記の【語群】から選択して、記号で答えなさい。
(各1点)

【語群】

- ア. イスラーム イ. キリスト教 ウ. ヒンドゥー教 エ. 仏教

表1 主な宗教における食生活の特徴

宗教名	食生活の特徴
①	聖なる動物とされる牛の肉を食べず、不殺生の教えから菜食主義もいる。
②	肉や魚を使わない精進料理を食べる地域もある。
③	宗教的に認められた方法で調理された食品を食べる。
④	食前食後に、神への感謝の気持ちを込めてお祈りをささげる人々がいる。

問3 下線の b) のアラビア半島などにみられる民族衣装であるアバヤ（アバーヤ）の特徴を答えなさい。（3点）

問4 下線の c) の地下水路について、水路を地下に作る理由、また、北アフリカとイランでは地下水路を何と呼んでいるかを答えなさい。（理由：3点、呼び名：各2点）

問5 下線 d)に関連して、次の図1は、ヒンドゥー教のヴァルナ（身分）を示している。図1の①～⑤に当てはまる身分の名前を、下記の【語群】から選択して、記号で答えなさい。（各1点）

【語群】

ア. ヴァイシャ

イ. クシャトリア

ウ. シュードラ

エ. ダリット

オ. バラモン

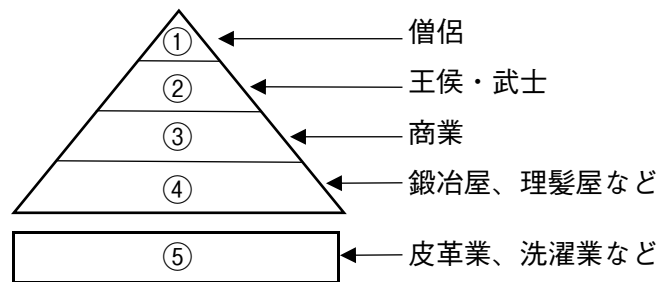


図1 ヒンドゥー教におけるヴァルナ（身分）とジャーティ（社会集団）の関係

問6 下線 e)に関連して、インドでミルクの生産量が増加した背景、また、その増加した現象は何と呼ばれているかを答えなさい。（理由：3点、呼ばれ方：2点）

Ⅲ 次のエネルギー利用に関する文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

エネルギー資源は、特定の国に生産地が偏在する。一方で欧米や日本などの ① や、経済発展の著しいインドや中国などの ② で大量に消費されている。エネルギー資源をめぐっては ③ と呼ばれる ① の巨大企業が、採掘や製鉄、製品化などの権益を握ってきた。

これに不満を持った国々では、自国の資源を経済的自立や発展に結びつけようとする ④ の動きが高まり、1960年の ⑤ の結成などに結びついた。その後、1970年代の二度にわたる ⑥ を経て、産油国が原油の価格や産油量の決定権を確保するようになっている。

近年、西ヨーロッパの国々では、再生可能エネルギーの利用を拡大することで、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料への依存を軽減する努力を行っている。南北アメリカ大陸では、植物を発酵・蒸留して得られる ⑦ が燃料として商業化され、アメリカ合衆国では ⑧、世界最大の ⑨ の生産国であるブラジルでは、それが広く利用されている。日本では、清掃工場や発電所などで、燃焼・発電時に発生する廃熱を活用する ⑩ が進んでいる。

問1 文中の ① ～ ⑩ に適切な語句を記しなさい。(各2点)

問2 下線 a) に関して、次の図1は、日本のエネルギー資源である原油の輸入相手国のグラフである。A～Dの国名を答えなさい。(各1点)

著作権承諾上の理由により、図表の掲載は控えさせていただきます。
非公開部分については、沖縄国際大学入試センター窓口にて閲覧ください。

【2023/25 日本国勢図会】より作成

【語群】

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| ア. アメリカ | イ. アラブ首長国連邦 | ウ. クウェート |
| エ. サウジアラビア | オ. ブラジル | カ. カナダ |
| キ. メキシコ | ク. 中国 | |

問3 下線 b) に関して、ヨーロッパで推進されているエネルギーの利用形態を3点挙げなさい。(各2点)

問4 下線 c) に関して、現在進行中の大きな地球環境問題を挙げ、デンマークやノルウェー、ドイツなどの国の取り組み事例を説明しなさい。(5点)

